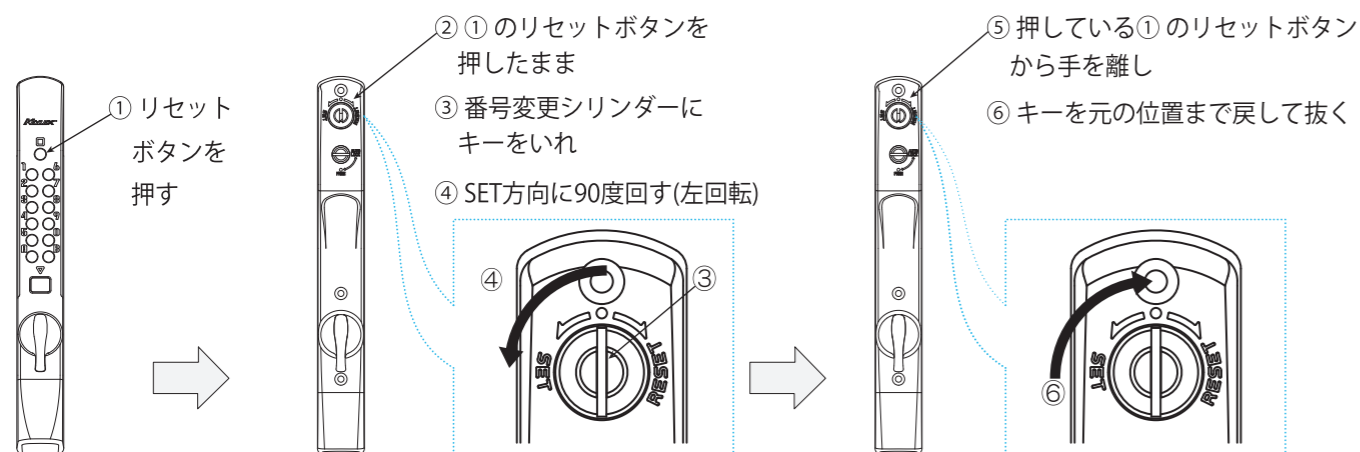




記憶番号変更後に解錠できなくなった場合は

『リセットボタンを押しても、記憶番号やエンターボタンが押せない場合』『記憶させた番号で解錠できない』場合は、以下の手順で全ての記憶番号をリセットします。



⑦ リセットボタン、エンターボタンの順に押し、ロックターン操作で解錠する事を確認します。

⑧ 『記憶番号の変更方法 (3ページ上欄)』で、新たに記憶番号の設定をおこないます。

記憶番号設定に関するご注意

● キーレックス3100は1~12桁まで、任意の記憶番号（組み合わせ：4,096通り）を設定できます。

● ボタンを押す順番は設定できません。

例) 記憶番号 1・2・3 の場合

1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。

● 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押す設定はできません）

例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

■ 取付時の注意

● 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。



■ 取付ねじのゆるみ

● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。

■ 受座の飛び出し

● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。

■ 他の用途への使用

● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。
● 本説明書以外の操作は絶対にしないでください。

◆ 操作上の注意

(故障の原因となります)

● 製品の分解、改造はしないでください。
● デッドラッチやデッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
● 各ボタンは同時押しをせず、1つずつ押ししてください。

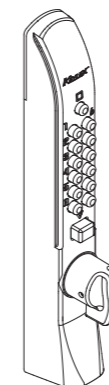
◆ 永くご使用頂くために

● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
● 表面の手入れは柔らかな布で拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

取り付けられている建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

取扱説明書 施主様向

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

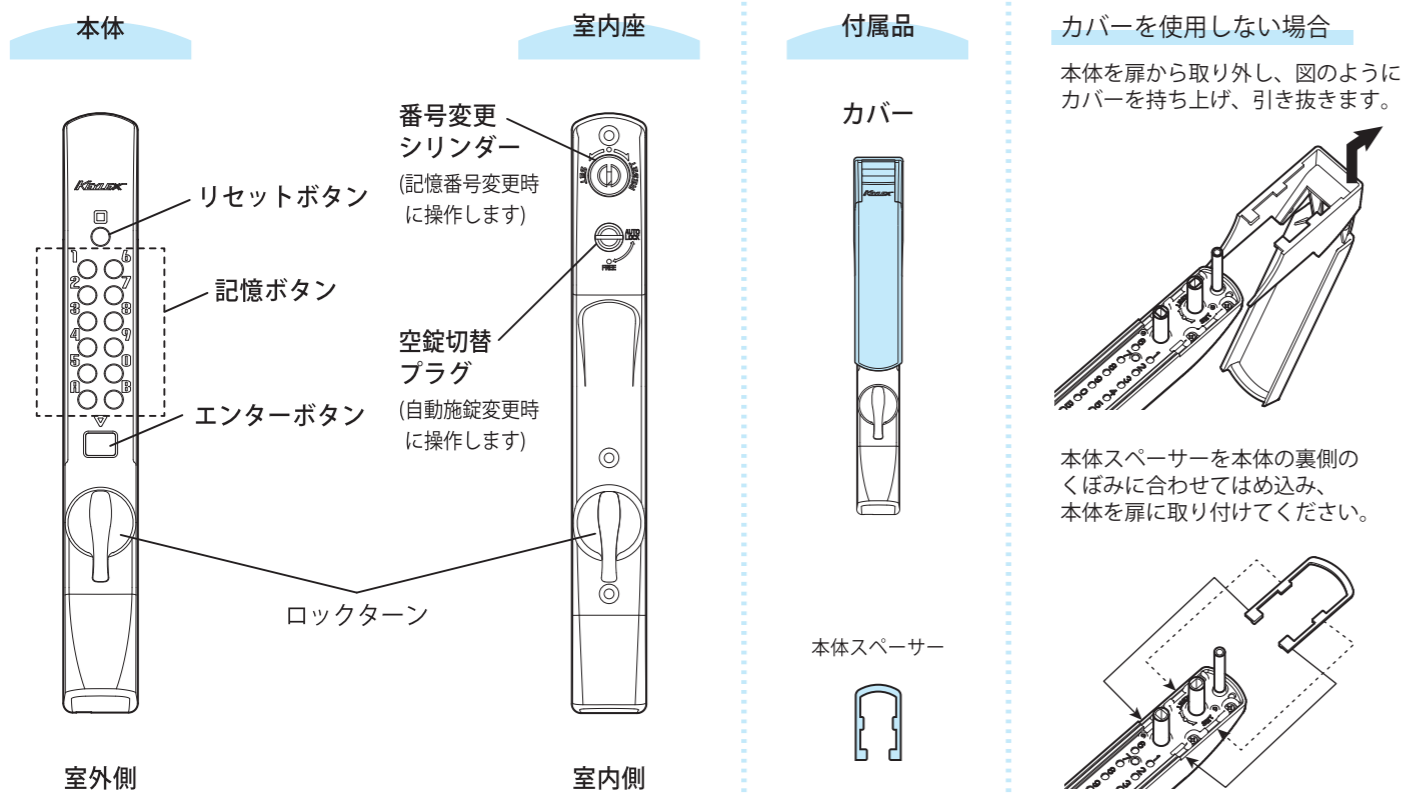
年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

K328C/K328CM/K328CL/K328CG

各部の名称



解錠の方法

※ 本説明書は右勝手仕様です。左勝手は対称です。

1 ボタンによる解錠

※ 施錠時はロックターンを操作すると空転します

- リセットボタンを押す**
- 現在の記憶番号を押す**
押し間違えた場合は、①のリセットボタンを押して、もう一度記憶番号を押します。
- エンターボタンを押す**
押し込まれたままになります。記憶番号が間違っている場合、押し込まれません。
- ロックターン操作で解錠**
注意
エンターボタンを押しながらロックターン操作をしないでください

2 室内側からの解錠

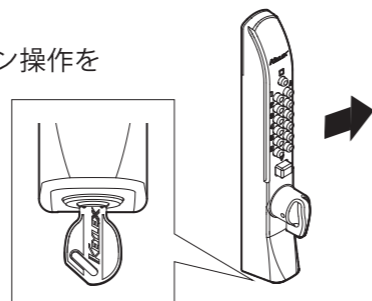
◆ロックターン操作で解錠



3 キー操作による解錠

◆鍵付きタイプの場合は、記憶ボタン操作を行わずキー操作で解錠できます。

本体底部シリンダーにキーを差し回し、キーを抜いて戸を開けてください。



注意 ◆引戸を開ける際はロックターンから手を離して、別途取り付けてある取っ手やハンドルで開けてください。

記憶番号の変更方法

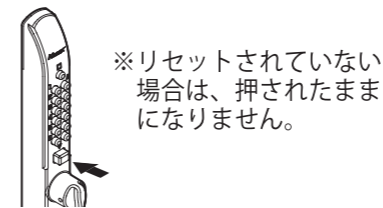
注意 各変更の際は引き戸を開けた状態で操作します

1 記憶番号をリセットする

- リセットボタンを押す
- 番号変更シリンダーにキーを差し込む
- RESET(消去)方向に90度回す(右回転)
- キーを元の位置まで戻して抜く

しっかりリセットされているか確認

⑤ エンターボタンを押し込み、押し込まれたままになるか確認する



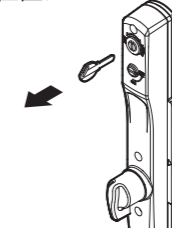
⑥ ロックターンをまわしてエンターボタンが戻ることを確認する



2 記憶番号をセットする

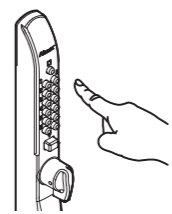
- リセットボタンを押す
- 設定する記憶番号を押す
注意
キーは先に差し込まないでください
- 番号変更シリンダーにキーを差し込む
- SET(登録)方向に90度回す(左回転)
- キーを元の位置に戻して抜く

⑤ キーを元の位置に戻して抜く



記憶番号のセット確認

⑥ 2ページ「解錠の方法」にある「ボタンによる解錠」の①～④を操作して解錠されることを確認する



【空錠】への切り替え方法

空錠(Free)に切り替えると、扉を開けても施錠されなくなります。

- 解錠操作をおこなう。
2ページ「解錠の方法」にある「ボタンによる解錠」の①～③を操作して解錠する
- ロックターンを解錠方向で保持する
- 室内側の空錠切替プラグをコイン等を使ってFREEに回す(右回転)
- トリガーが引っ込んでいるか確認する

【自動施錠】への切り替え方法

- ロックターンを解錠方向で保持する
- 室内側の空錠切替プラグをコイン等を使ってAUTO LOCKに回す(左回転)
- トリガーが飛び出ているのを確認する